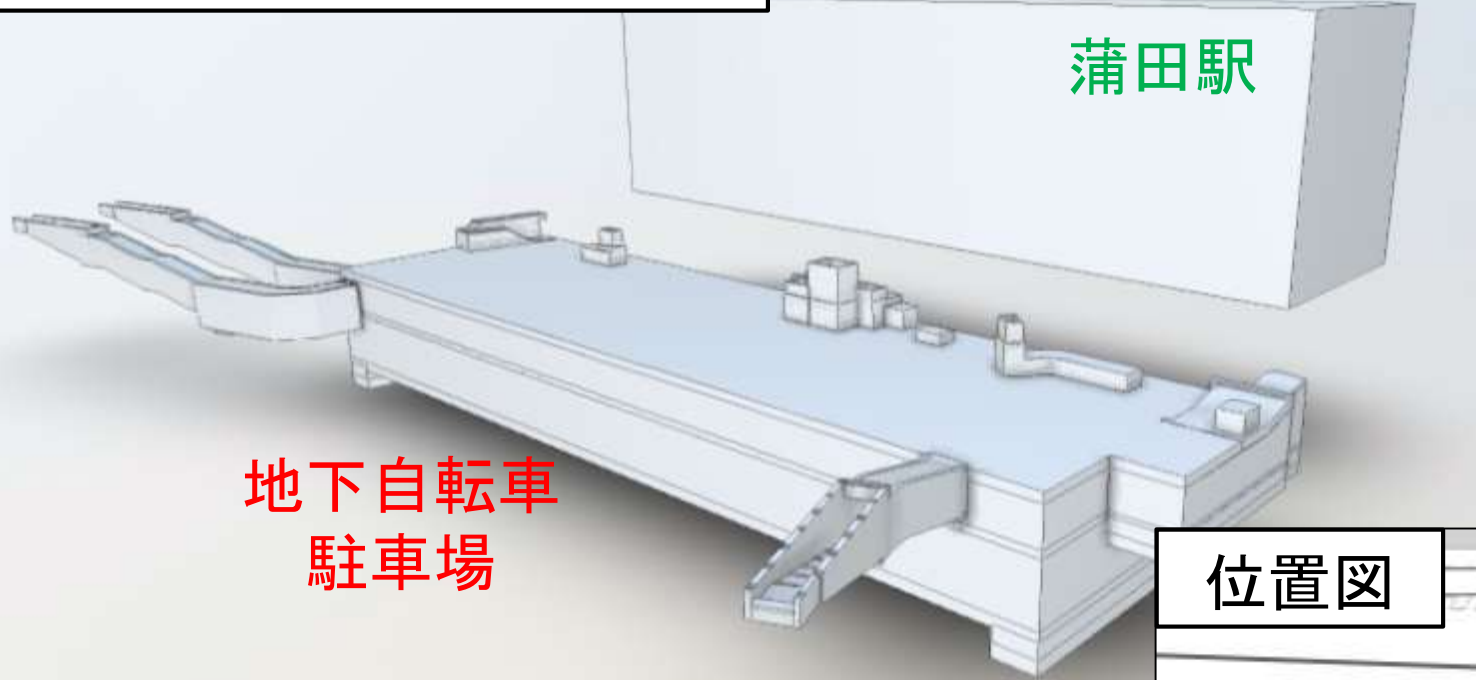


大田第9号蒲田駅東口地下
自転車駐車場整備工事(その1)

工事概要説明

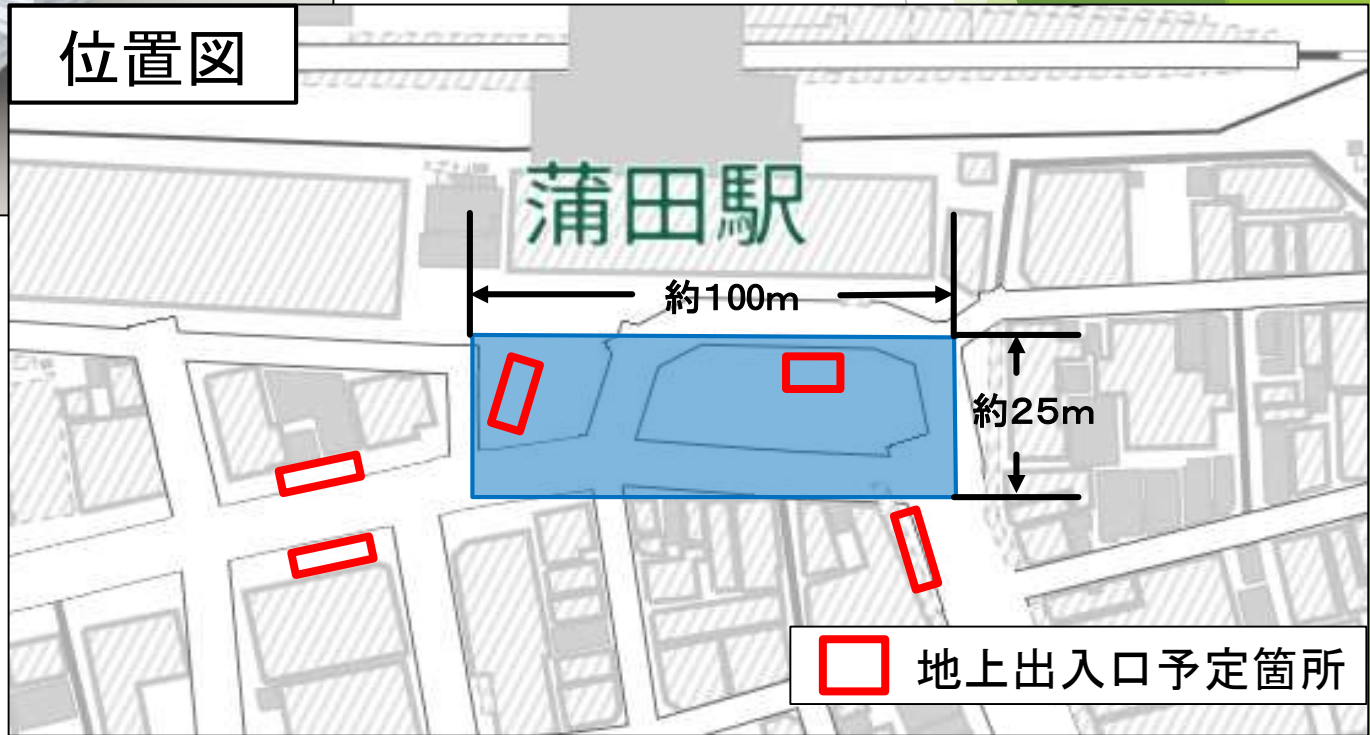
施工者: 不動テトラ・吉田・池上 建設工事共同企業体

地下自転車駐車場全体図



大田第9号
蒲田駅東口
地下自転車駐車場
整備工事(その1)

位置図



工事目的:地下自転車駐車場の構築
及び駅前広場の整備

施工者:不動テトラ・吉田・池上 建設工事共同企業体

工期:令和5年12月8日～

令和10年3月15日まで(51か月)

工事手順

工事の流れ

地中連続壁工

掘削するときに
周りの土が
崩れないように、
補強壁を作る作業。

路面覆工

掘削する前に、地上
の交通維持のため
覆工板(鉄板)で
地上を養生する作業。

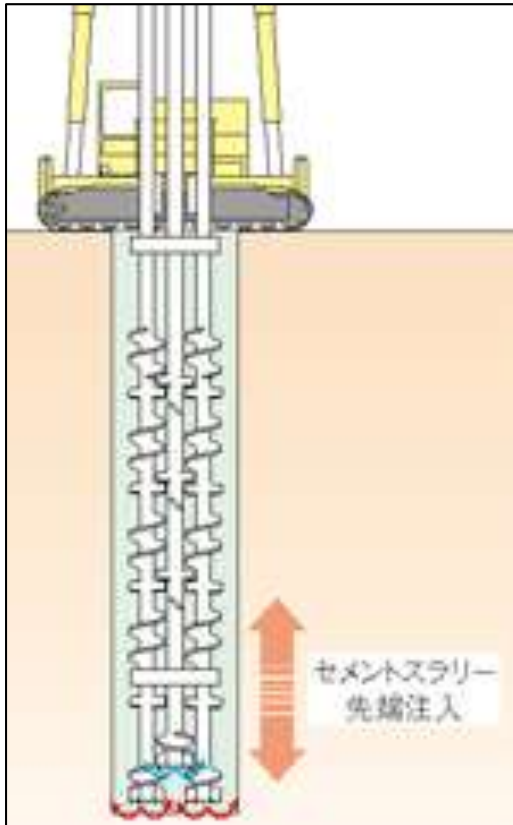
掘削・土留め

周りの補強壁が崩れ
ないように、鋼材で
の補強をしながら、
掘り下げる作業。

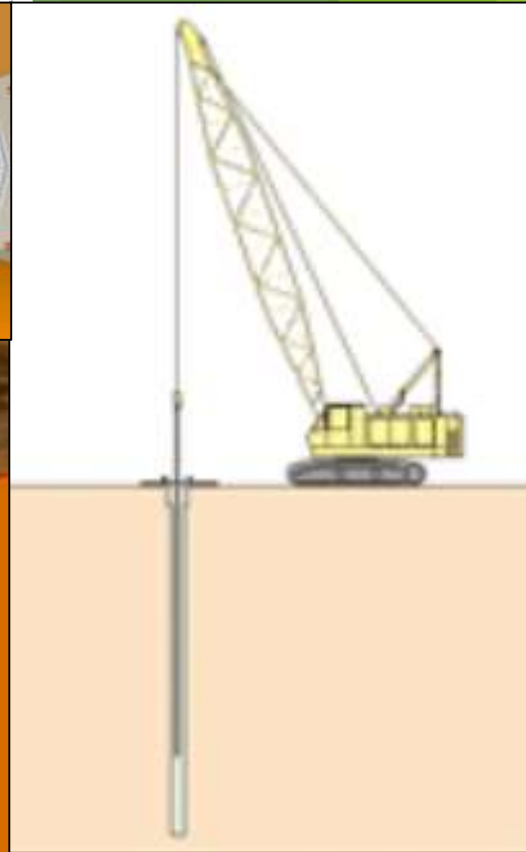
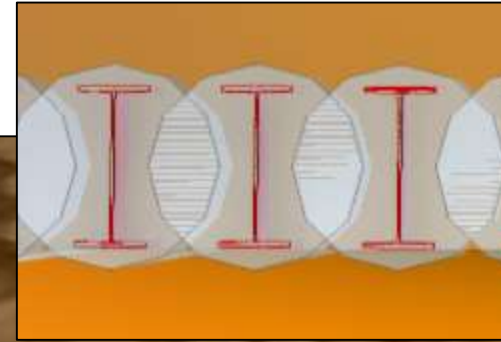
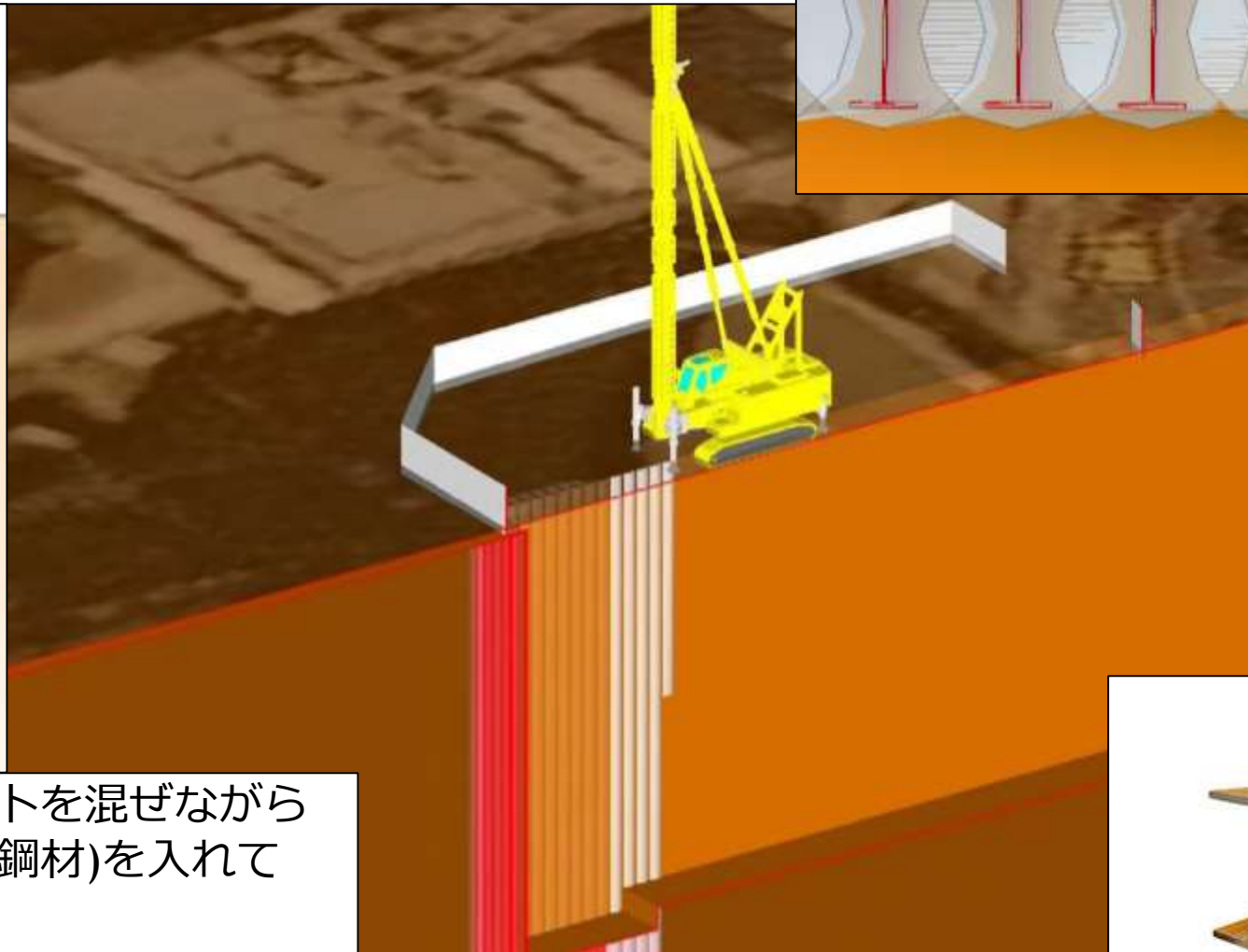
躯体工

地下駐車場本体を
下から順に
作っていきます。

地中連続壁工

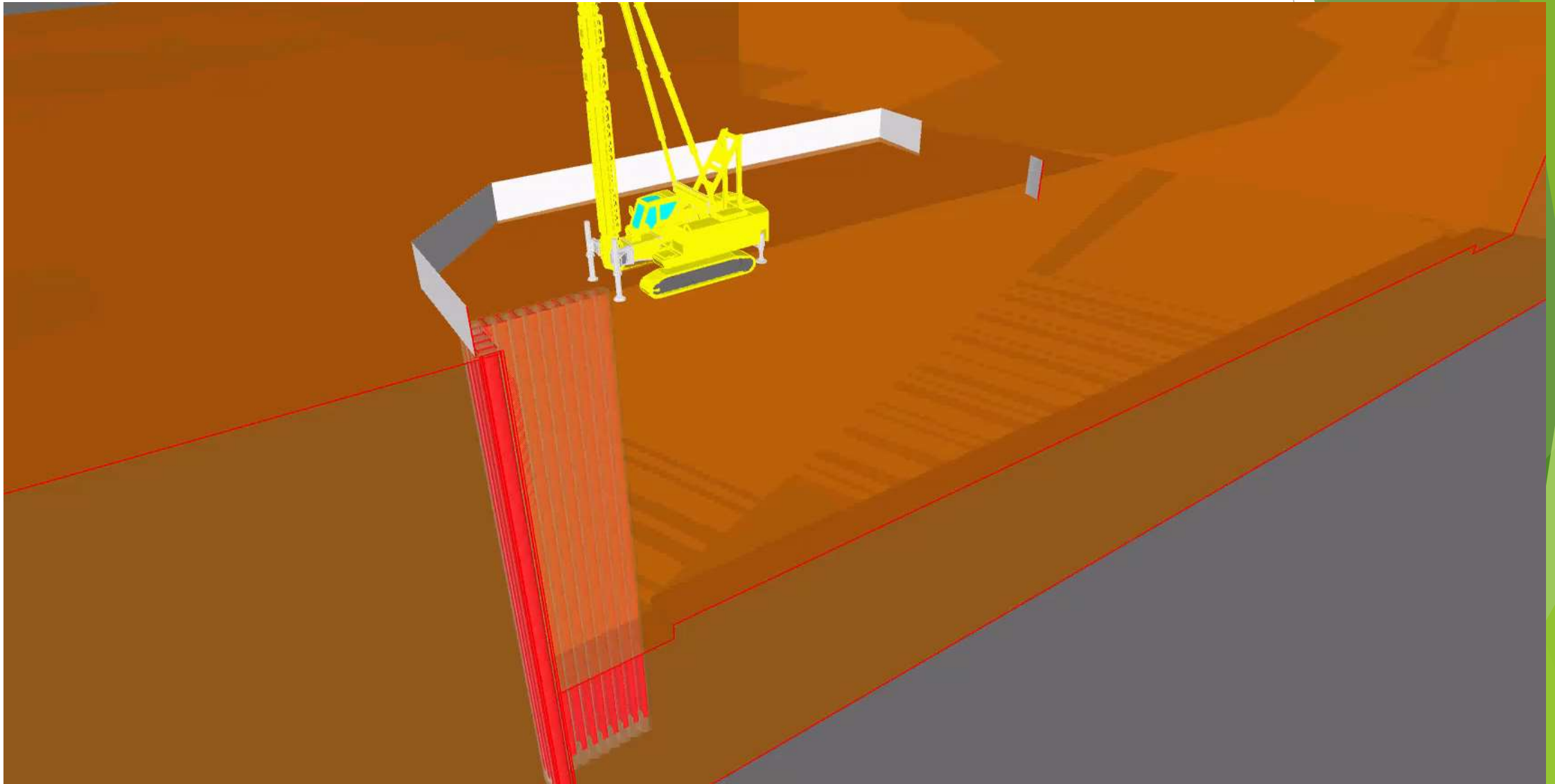


大型の削孔機でセメントを混ぜながら掘り下げ、中心にH鋼(鋼材)を入れて補強壁を作ります。



H鋼(鋼材)

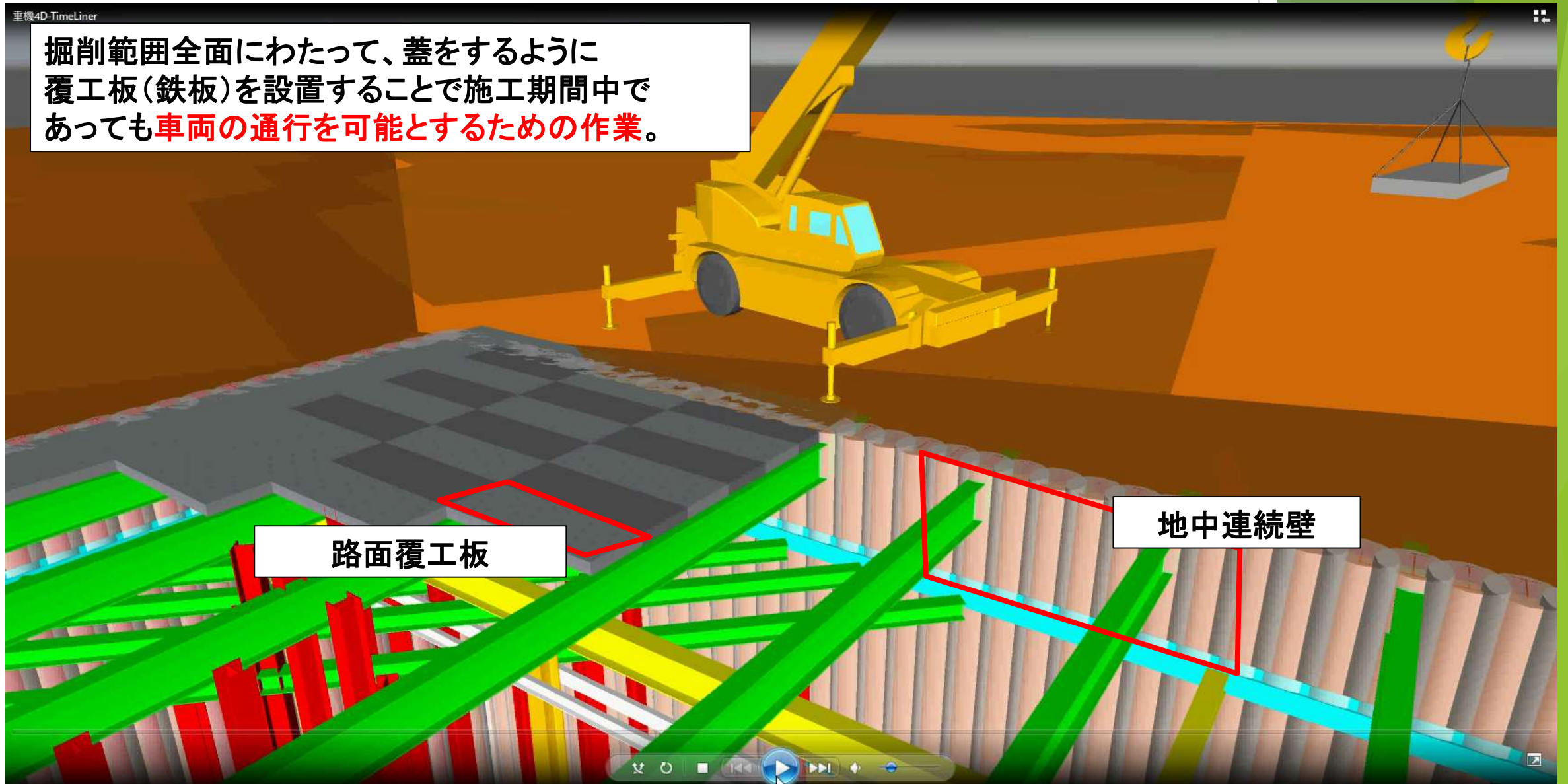
地中連続壁工



路面覆工

重機4D-TimeLiner

掘削範囲全面にわたって、蓋をするように覆工板(鉄板)を設置することで施工期間中でも**車両の通行を可能とするための作業。**

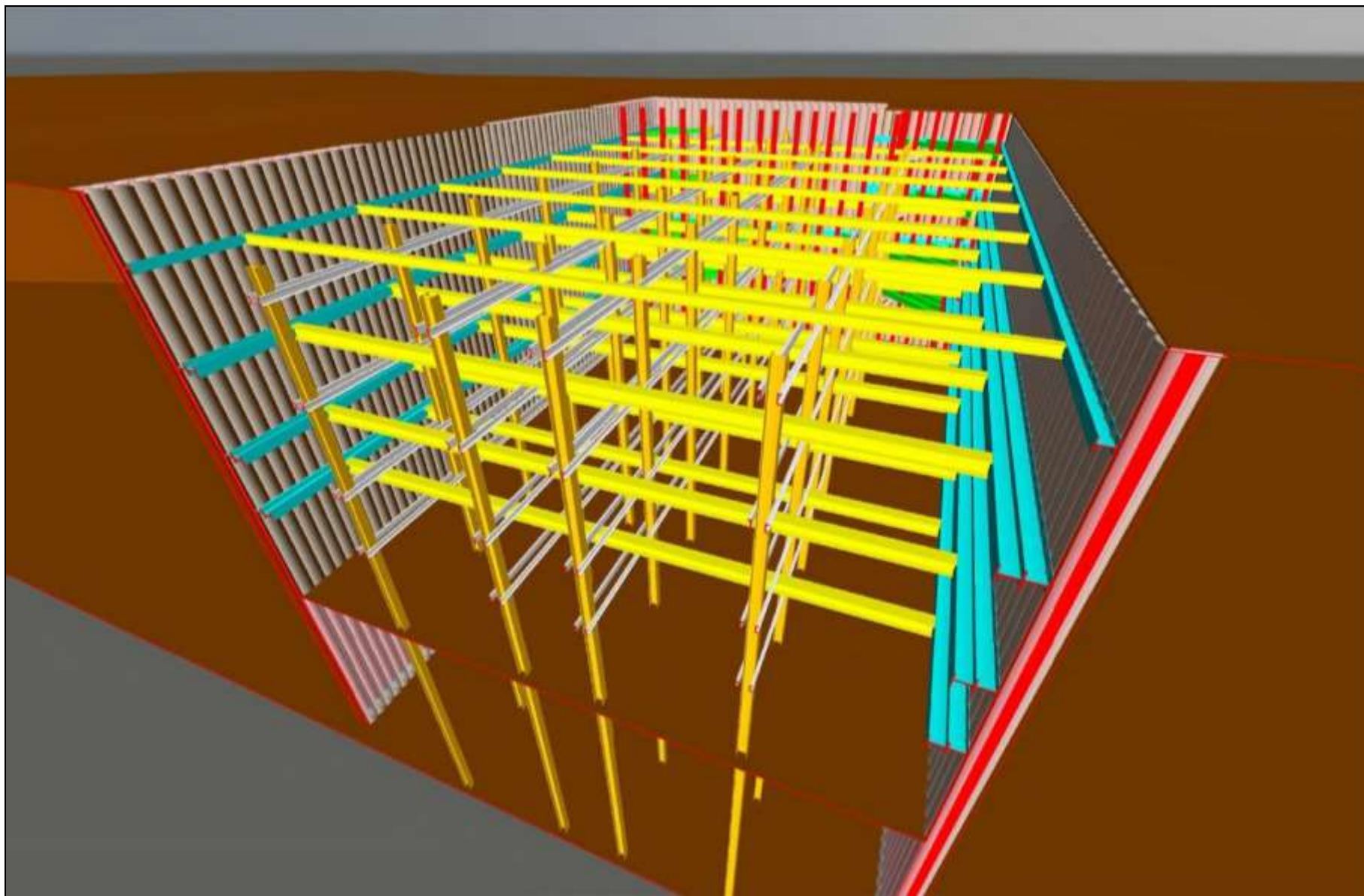


路面覆工板

地中連続壁



掘削・土留め

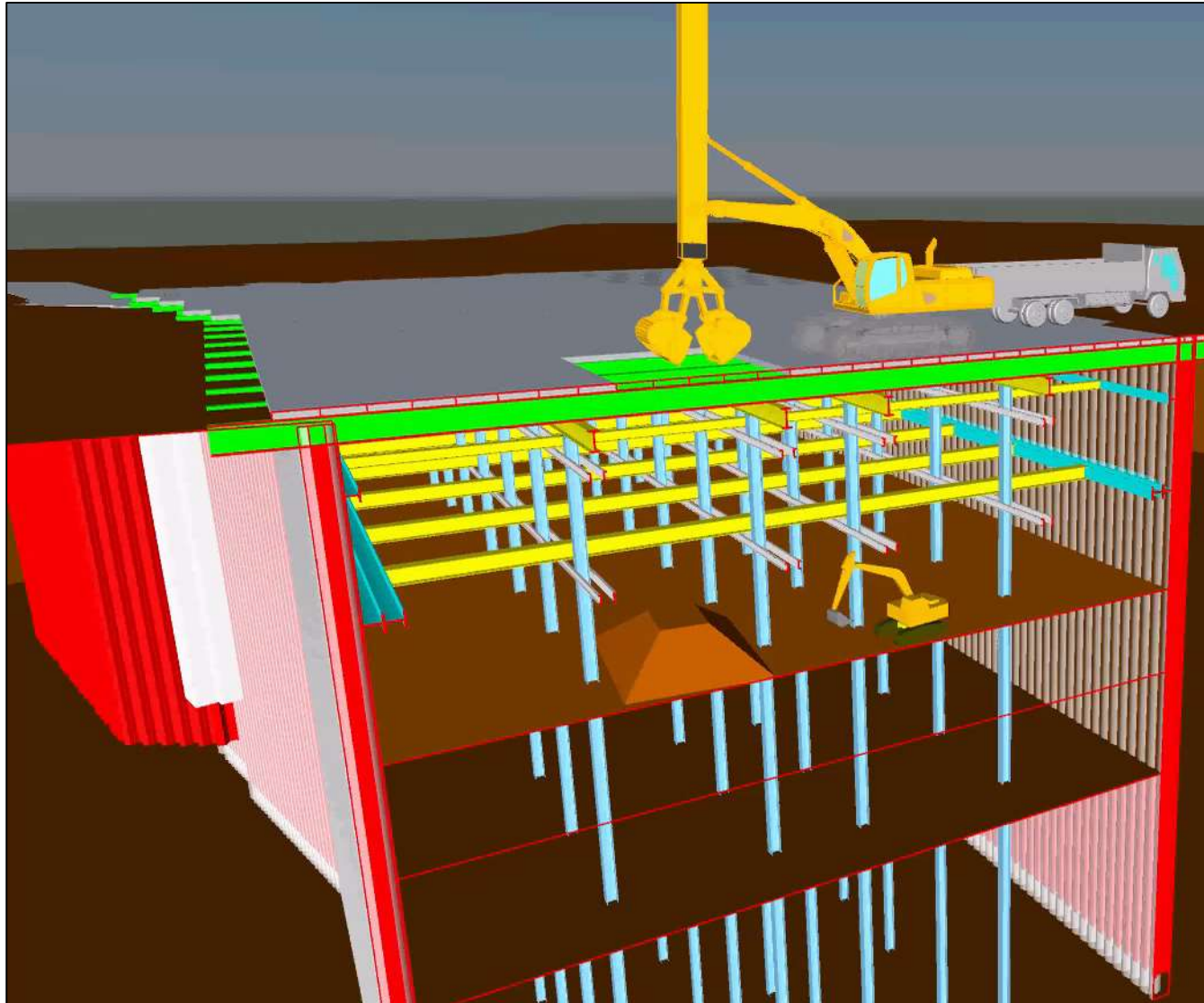


路面覆工完了後、
深さ15mを4段階にわけて
鋼材での補強を入れて
掘り下げていく作業。

全面にわたって通行不可に
なるわけではなく、
一部箇所の覆工板を
開けて地上に土砂を
搬出するため、
車両通行を維持しながらの
施工。

この作業では
工事車両出入り口から
土砂を載せた
ダンプトラックが
出入りします。
(1日当たり60~70台予定)

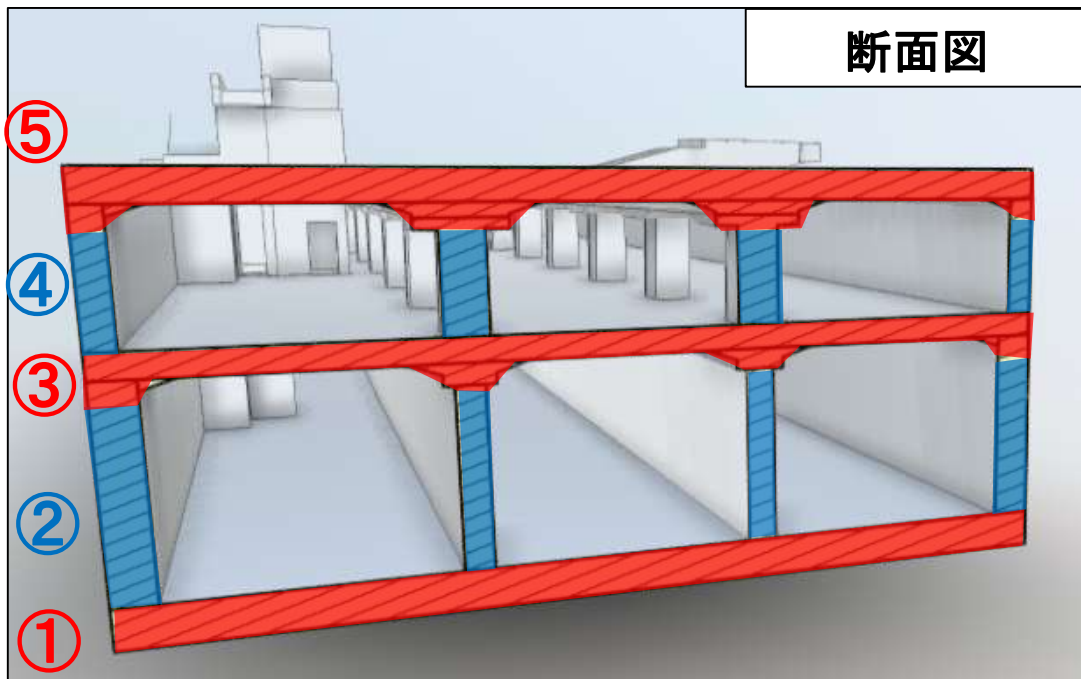
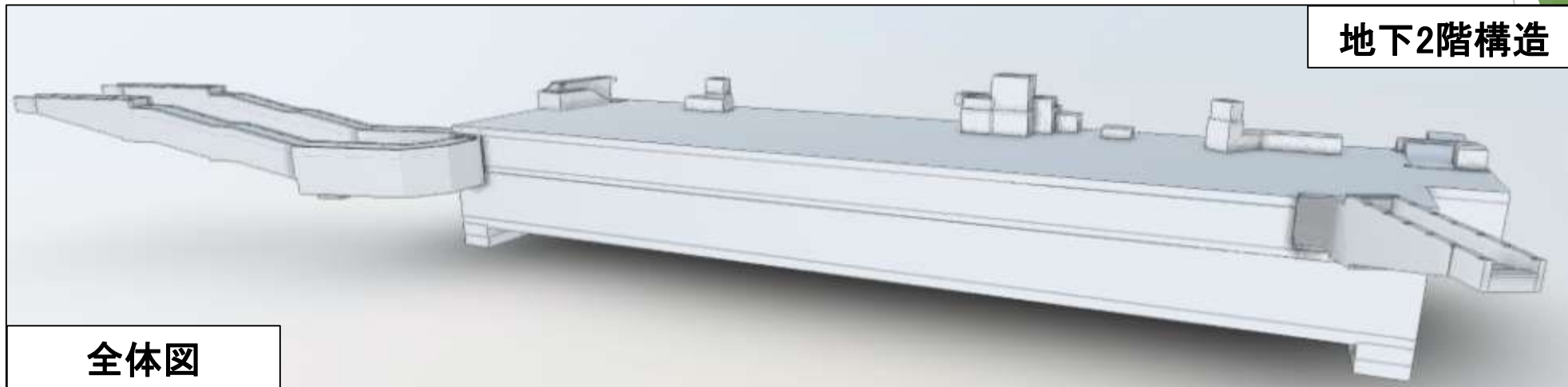
掘削・土留め



掘削作業は
地下で掘った土を1箇所に集め、
引き上げる形で行うので
地上での工事範囲は限定され、
交通を維持することが可能。



躯体工

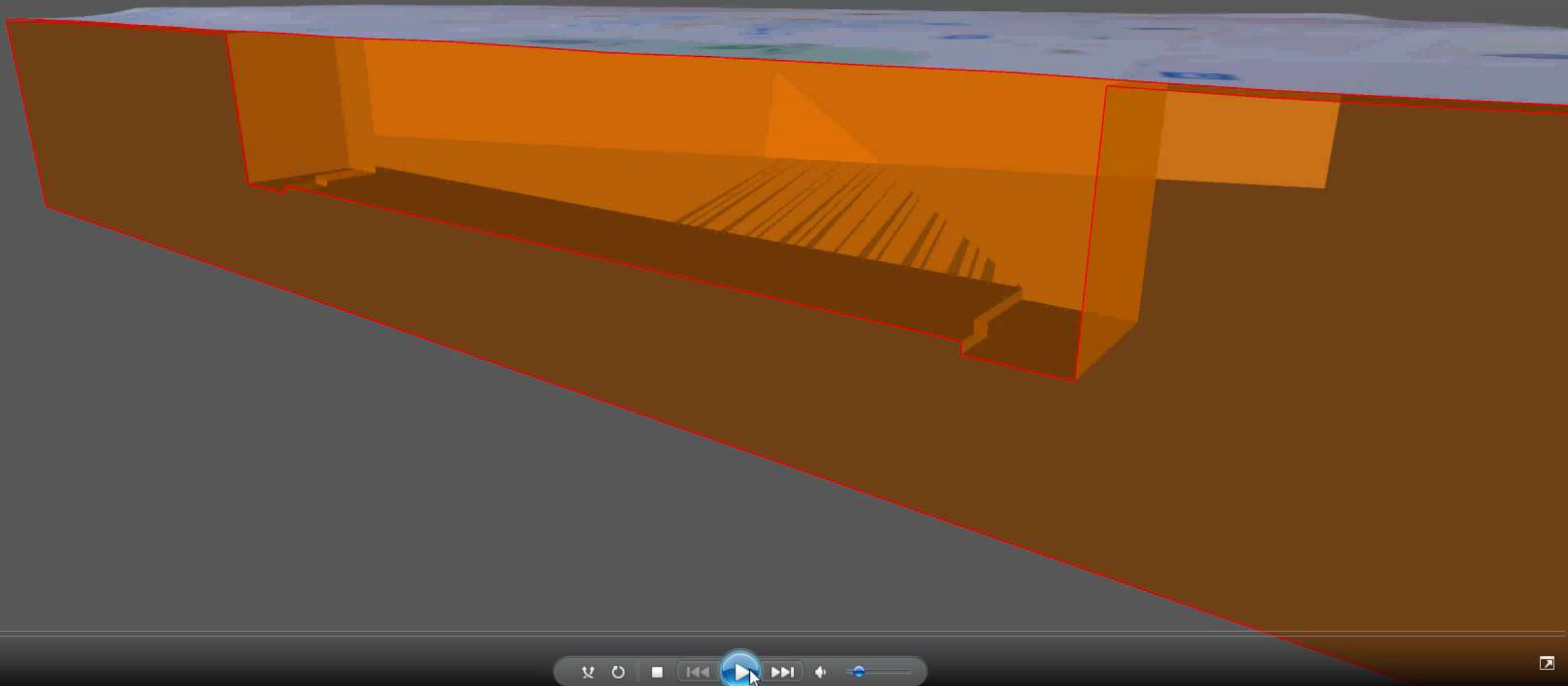


鉄筋コンクリートで施工

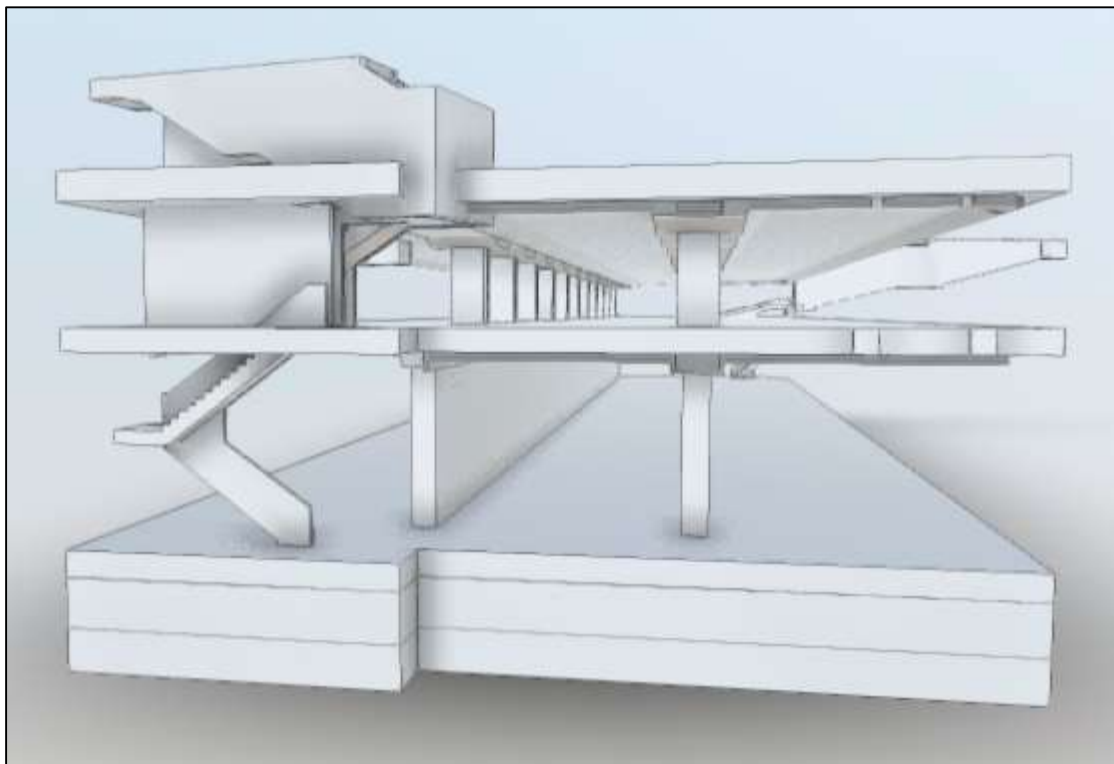
下から順に回数をわけて施工する

作業は主に3段階

- ・鉄筋工(芯となる鉄の棒を組み立てる)
- ・型枠工(コンクリートの形に枠を設置する)
- ・コンクリート打設(枠にコンクリートを流し込む)



機械設備



地下2階構造

駐輪可能台数(予定)

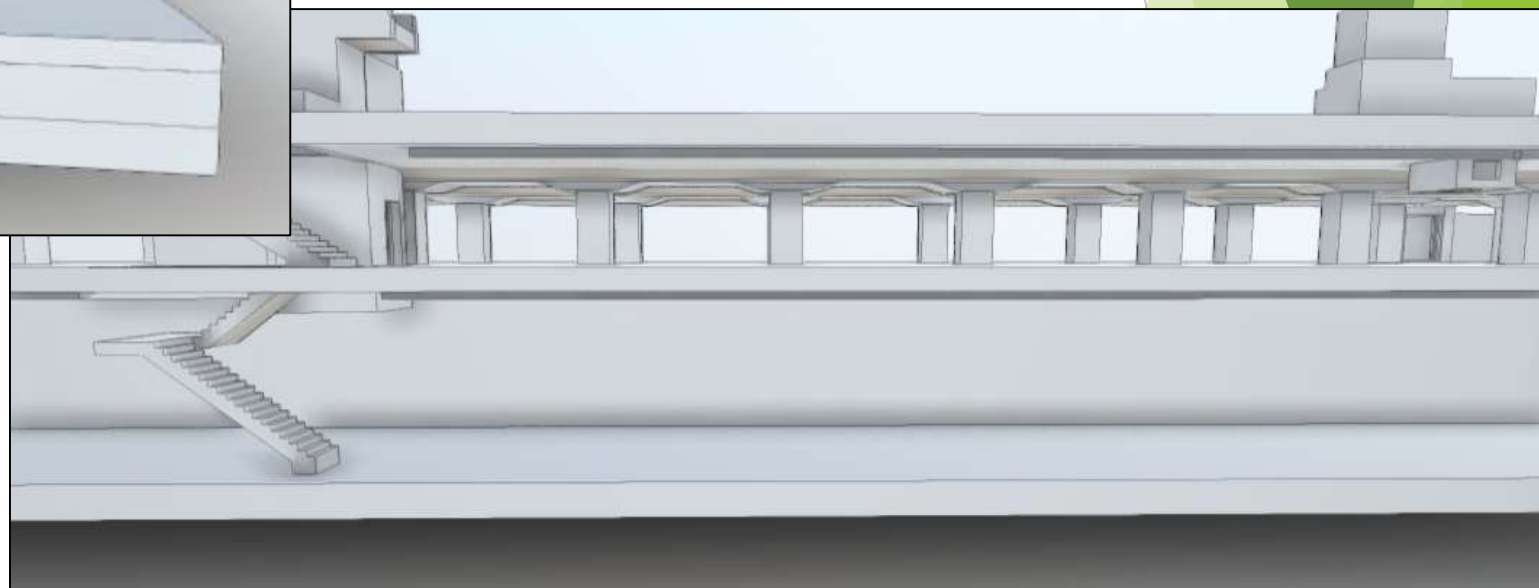
B1F 約1100台

B2F 約1700台

合計 2800 台

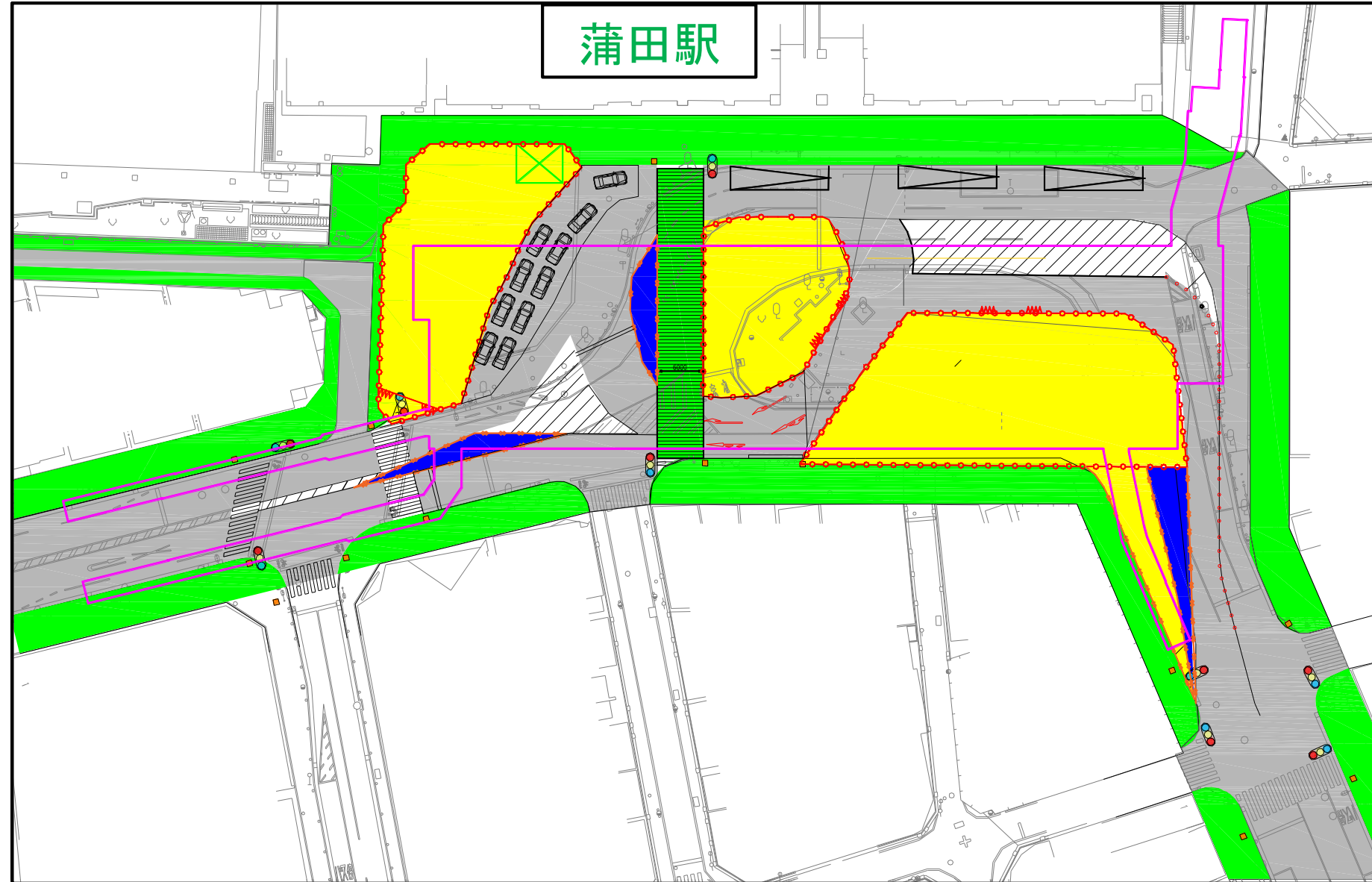
B2Fは水平機械式駐輪施設(無人機械での入出庫)




※次スライドに参考写真





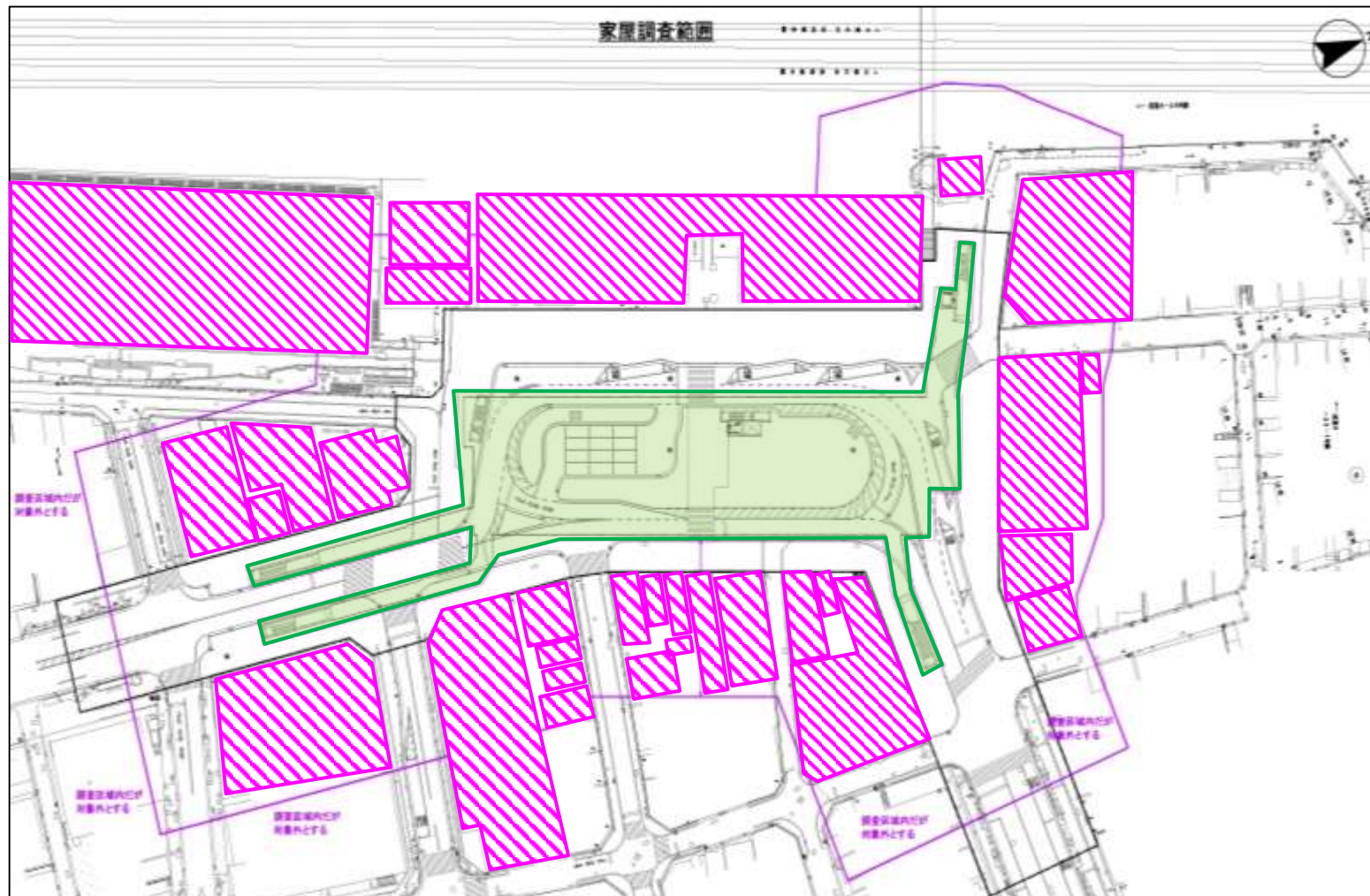
地上工事範囲予定



	工事範囲
	歩道
	車道
	夜間工事範囲
	地下駐車場

令和6年1月現在の計画であり、今後の関係機関等との協議状況等により変更となる場合があります。

家屋調査



本体工事に伴い、周辺家屋に影響を与えていないか調査をする作業

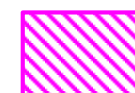
工事の前後での差異を見つけるために

- ・ 事前調査
- ・ 事後調査

の2回にわけて調査を行う。



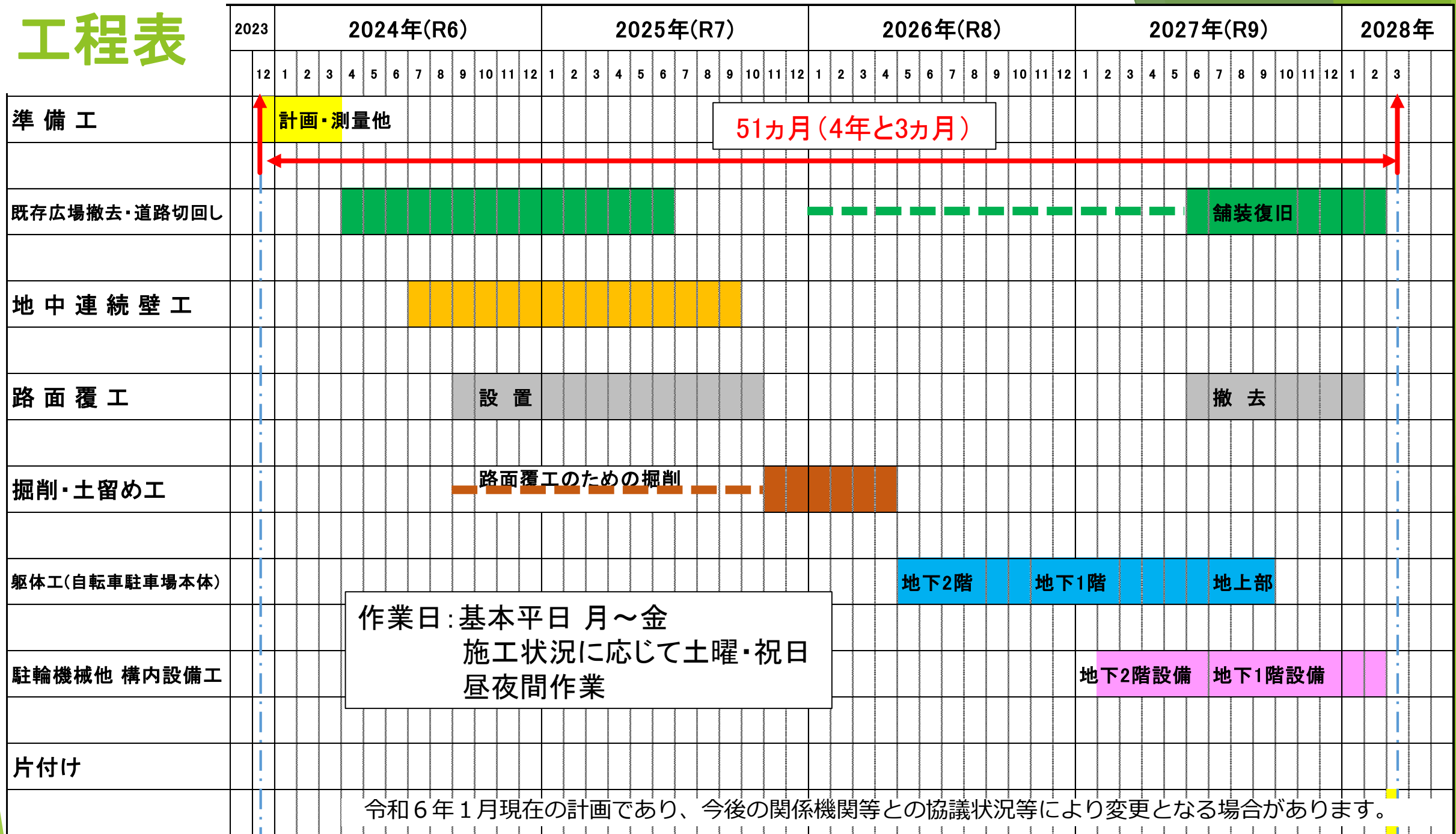
・ ・ 工事範囲



・ ・ 調査対象家屋

※調査前に各家屋ごと、調査日時の日程調整に伺わせていただきます。

工程表



環境・安全対策

環境対策

・騒音、振動対策

機械は低騒音・低振動の対策型建設機械を使用

・粉塵対策

散水・路面清掃等に努め、工事現場から発生する粉塵を抑制

・排気ガス、CO2排出削減

稼働していない建設機械や、トラック等のアイドリングストップを実施して排出削減に努めます

安全対策

・交通事故防止

工事車両出入り口に誘導員を配置し、一般車両、通行者を優先して通行



・工事情報の共有

工事に伴う道路状況の変更等、適宜、情報提供に努めます

・照明設備

工事に伴い、街灯を撤去した箇所等必要に応じて照明設備を設置して安全を確保

・事故防止対策

作業中止基準を設定し、強風時のクレーン転倒等の事故を防止

